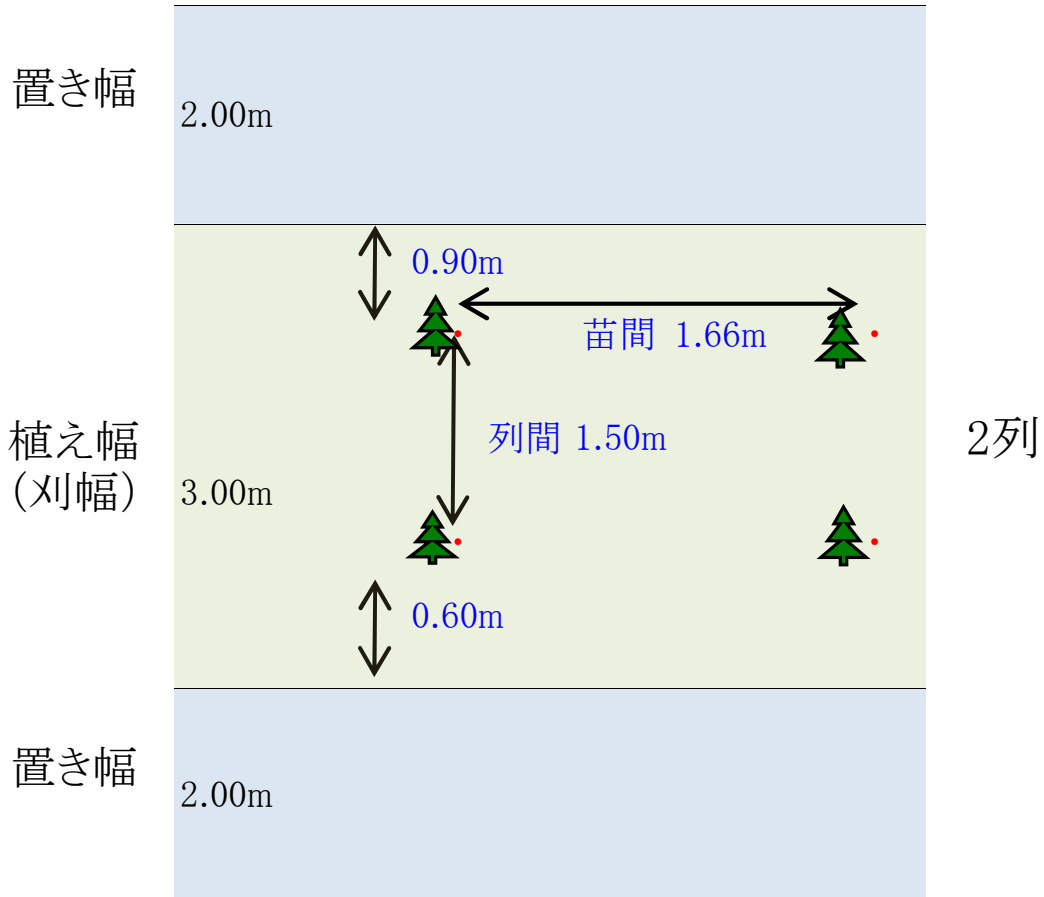






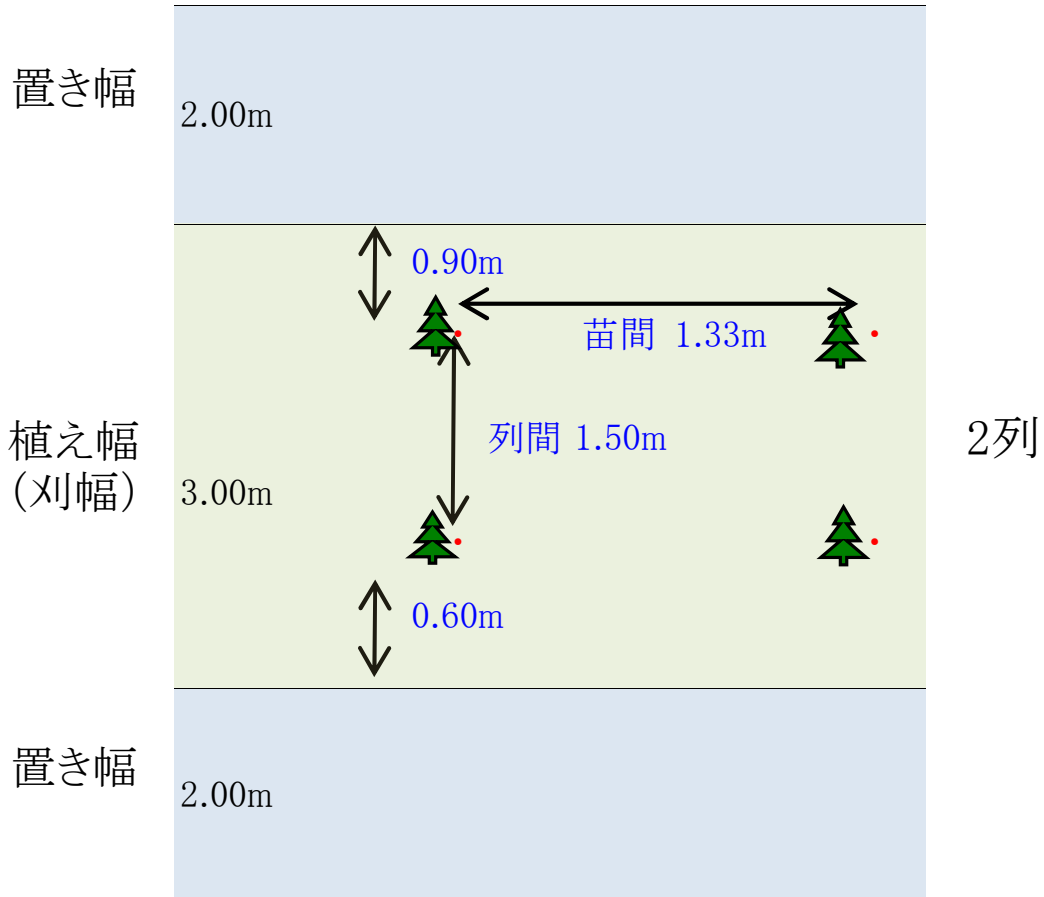
# 植付標準間隔図



植付本数 2410本/ha

黒河内  
207は1林小班

# 植付標準間隔図



植付本数 3012本/ha

黒河内  
222と林小班

## 特記仕様書(防護柵作設・金網)

### 1. 防護柵資材設計数量

#### (1) 金網(鉄杭支柱使用)

	金網・上 (巻)	金網・下 (巻)	鉄線 #12 (kg)	支柱(金属) (本)	アンカーピン (金属) (本)	作設延長 (m)
207は1	52	52	65	541	1560	1300
222と	52	52	65	545	1560	1300
計						2600

### 2. 作設仕様

別紙、作設図による。

開口部(出入口)は4箇所(207は1)、6箇所(222と)程度とする。

### 3. その他

特記仕様書で示された資材数量は作設図による標準的ものであることから、作設図により作設しがたい箇所がある場合は、監督職員と協議のうえ実施すること。

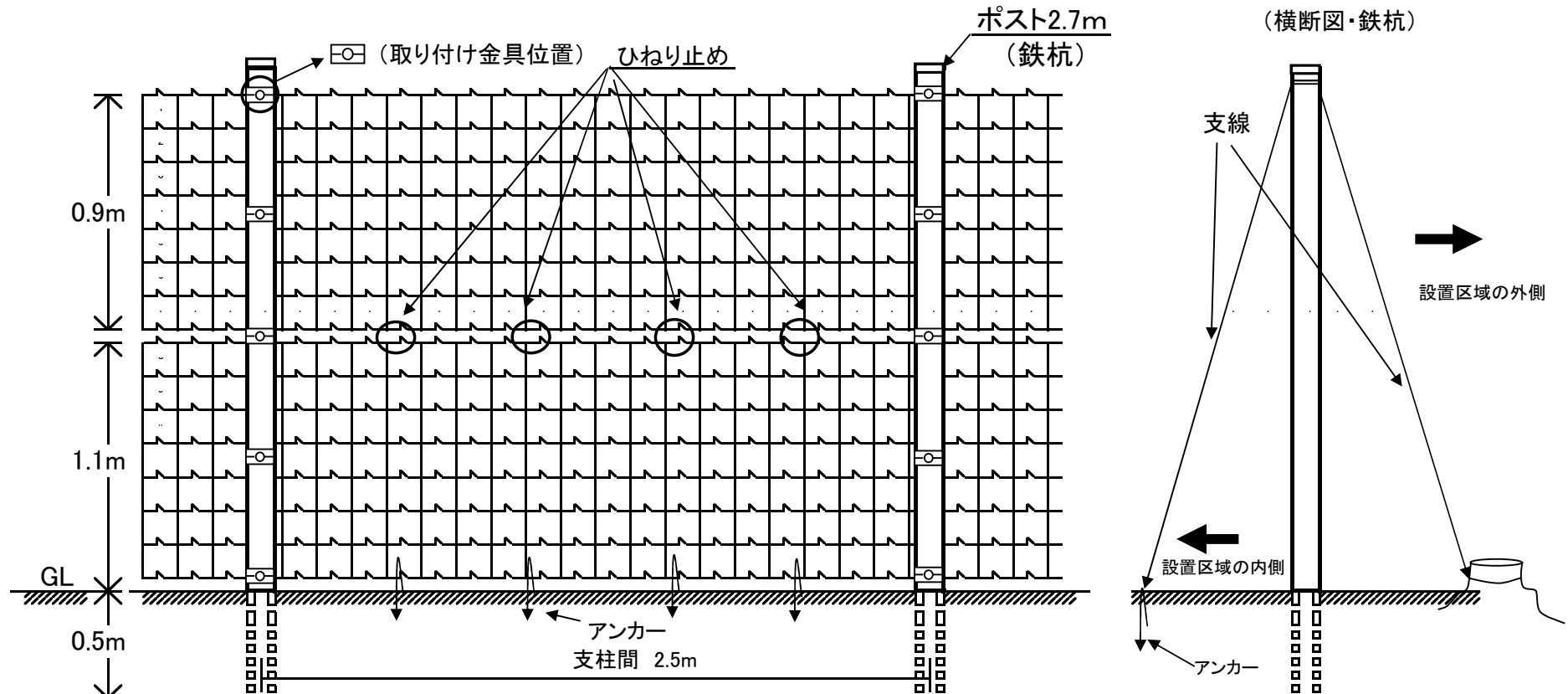
## ニホンジカ防護柵標準作設図（鉄杭のみ使用する箇所）

### 1.ポスト施工時注意事項

- ① 支柱ポスト(鉄杭)の間隔は、2.5mとする。
- ② ポスト取り付け金具(部品)は、ポスト1本に5箇所使用する。
- ③ ポストを埋める深さは、0.5mを目安とする。
- ④ ポストの間隔12.5m毎と、曲がり角には針金で支線を張る。

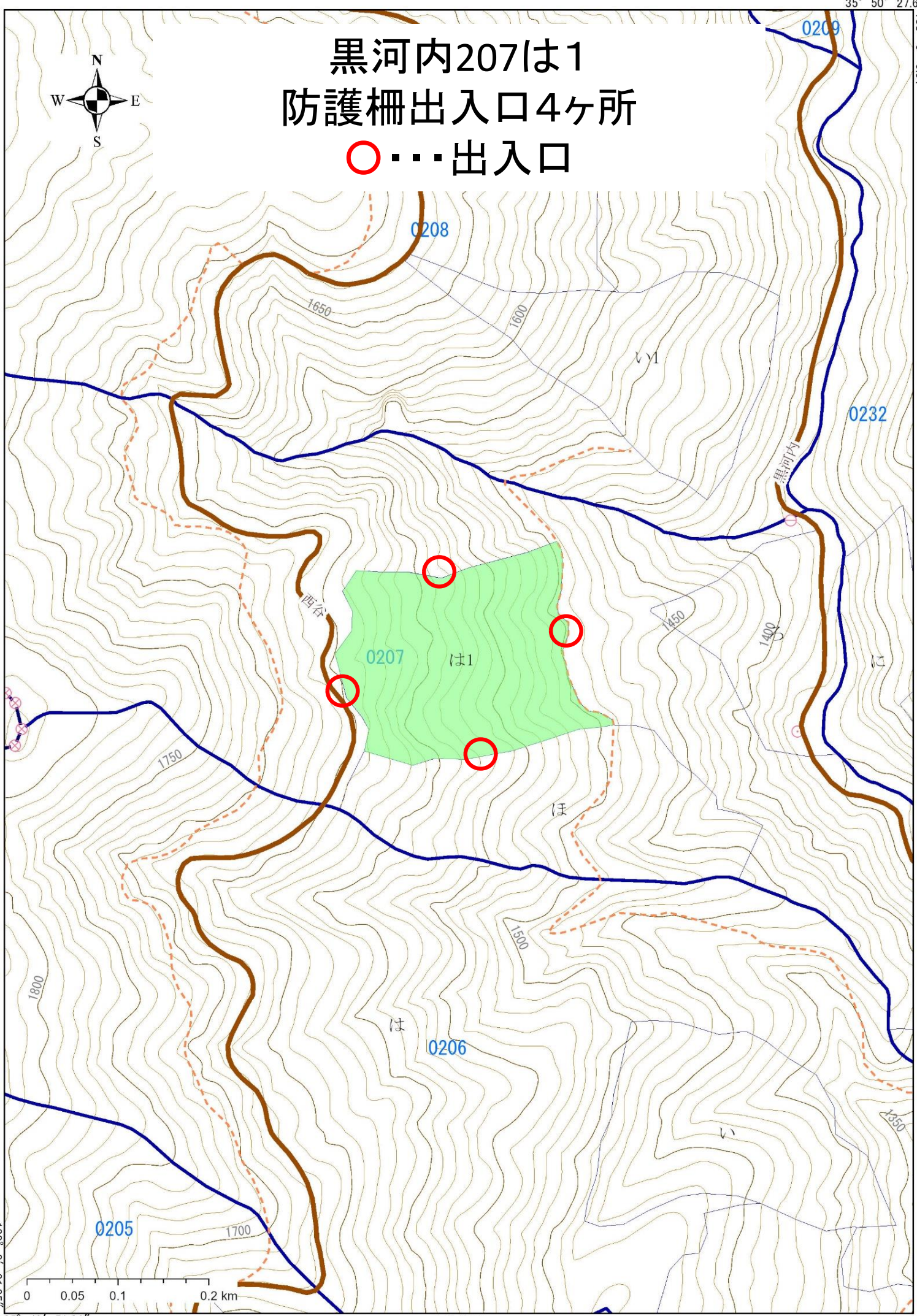
### 2.フェンス施工時注意事項

- ① 網の高さ2.0mとする（2段重ね：上0.9m+下1.1m・狭い目の網）
- ② 網は鉄杭を内側とする。鉄杭の場合は取り付け金具を外側から固定する
- ③ 上下の網をポスト間で4箇所以上ひねり止めにする。
- ④ アンカーは、ポスト間に4本打ち込み、網を地面に密着させる。
- ⑤ 入口設置箇所は監督員の指示によること。



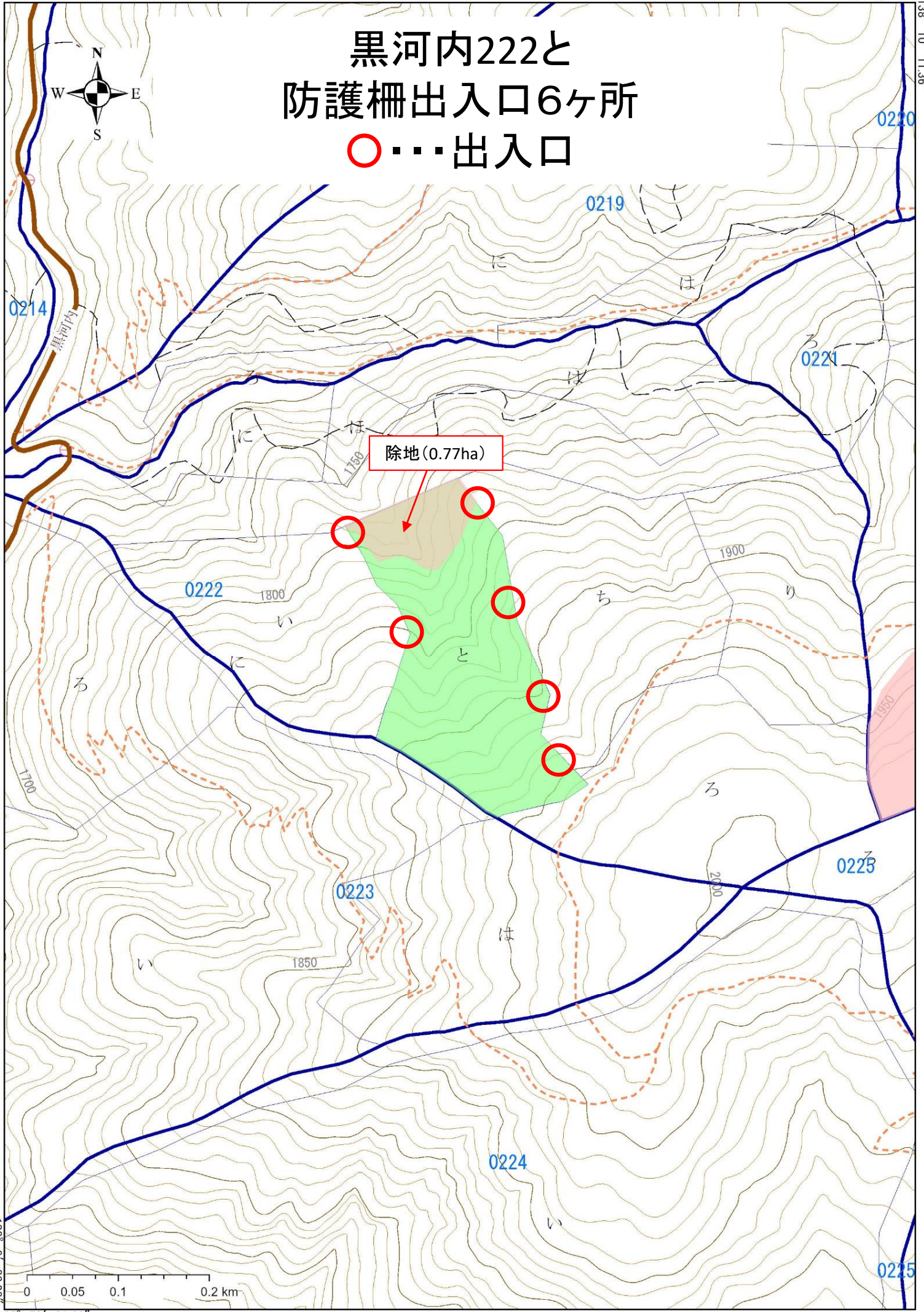
# 黒河内207は1 防護柵出入口4ヶ所

○・・・出入口



# 黒河内222と 防護柵出入口6ヶ所

○・・・出入口



除地 (0.77ha)

## 特記仕様書

事業内訳書により個別で事業期間が指定されている作業について、下記期日までに監督職員と調整の上部分完了届等を提出すること。

作業種	提出期限	備考
新植植付(春)	令和8年6月30日	部分完了届
新植地拵、防護柵作設	令和8年9月30日	部分完了届
新植植付(秋)	令和8年12月11日	完了届

注1: 作業が完了している場合は可能な限り纏めて部分完了届を提出すること。

注2: 契約内容の変更により事業期間が変更された場合は、変更後の事業期間末日までとする。